

◇ワークショップタイトル：

第二言語語用論研究のための応用会話分析

◇講師：

岡田悠佑先生(大阪大学)

◇日時：11月18日(土) 14:00-15:30

◇形式：オンライン (Zoom, 定員100名)

参加費無料, 要事前申込(先着順)



申込サイト

◇申込：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeGLapEyVasHoaUDNpatmD7AY1-Bb_Ely8mUgj6jOeFeJnKBQ/viewform

後日Zoomリンクをお知らせします

～皆様、ふるってご参加ください～

講師紹介：岡田悠佑先生

ハワイ大学マノア校第二言語研究科修了後、神戸大学大学院国際文化学研究科博士後期課程を修了、博士(学術)。

現在、大阪大学大学院人文学研究科准教授。専門は会話分析を用いた第二言語語用論研究。

Journal of PragmaticsやClassroom Discourseなどに論文掲載多数。

著書に『英語教育徹底リフレッシューグローバル化と21世紀型の教育ー』(開拓社)など。

ワークショップ概要：

近年、人々が発話・振舞いを特定の意味のあるものとして産出または解釈する方法を体系的に解明する方法論である会話分析を応用した第二言語語用論研究が盛んに行われている。

本ワークショップでは会話分析の方法論的基礎を概説した上で、会話分析を用いることで第二言語語用論のこういったことを研究できるのか、をハンズオンで学ぶ機会を提供する。

口頭能力インタビューテスト、ビデオカンファレンスでのグループワーク、初対面会話、議会での答弁といった英語相互行為の分析から、相互行為能力の測定法とその妥当性及び信頼性、知識の勾配と対人関係調整の方策、アイデンティティ、共感構築の成功と失敗とその社会的帰結、といった語用論的トピックに対して会話分析ができることを議論する。

主催：JACET SLA研究会

共催：東京外国語大学 英語学習支援センター